

「実践データ分析」「実践フィールドワーク」講義概要

担任者	整理 No	氏 名
	BLSP1	川上 智子
	BLSP2	岸谷 和広
	BLSP3	馬場 一

・「実践データ分析」(3年次・春学期)

テーマ	マイクロソフト社との共同プロジェクト
演習内容	<p>「実践データ分析」では、マイクロソフト社(アメリカ合衆国シアトル本社)が提供するテーマに関する調査研究をプロジェクト・チームの形で行います。マイクロソフト社から与えられるテーマは、同社の幅広い事業領域に関わるもので、たとえば、パソコン事業、携帯電話事業、オンラインショッピング、家電製品の将来、子どもや高齢者にも使いやすい IT のあり方といった多様なテーマが提示されています。</p> <p>本科目を担当する3名の教員の専門分野は、それぞれ「技術生産管理論」「イノベーション・マネジメント」(川上)、「広告政策論」「消費論」(岸谷)、「国際マーケティング論」「国際流通論」(馬場)です。履修者は、いずれかの教員のゼミに所属し、それぞれの専門分野に基づいて多様なテーマから課題を選択し、1チーム5名程度のプロジェクトごとに調査研究を行います。調査研究の中では、インタビュー調査や質問票調査などを通じてデータを収集し、分析する能力を養います。またチーム活動を通じて、将来のビジネスリーダーに必要なリーダーシップを培うことも目指しています。</p> <p>調査研究の成果は、2010年9月に実施されるBLSP科目の「実践海外研修」において、シアトルのマイクロソフト社およびワシントン大学の2か所で、英語でプレゼンテーションし、同社の実務担当者やワシントン大学の学生と英語でディスカッションを行います。</p> <p>このように「実践データ分析」の履修者には、アメリカで発表や議論ができるハイレベルな英語力を身につけることが求められるため、必修科目として「上級ビジネス英語 (BLSP)」を並行して履修することが課せられます。「上級ビジネス英語 (BLSP)」は、ビジネス英語の教育を専門とする3名の教員(岡本真由美、カーティス・ケリー、中邑光男)が全てのゼミをローテーションで担当し、「実践データ分析」担当教員と連携しながら、プレゼンテーションやディスカッションに必要な英語力を鍛えます。</p> <p>BLSPは通常のゼミと異なり、卒業論文は義務づけられていません。しかし、それに相当するものとして、プロジェクトのゼミが週に1回、ビジネス英語のゼミが週に1回、計週2回のゼミが行われ、複数の国際的かつ実践的なプロジェクトに取り組みながら、プロジェクト実践力と英語力を同時強化できるようなプログラムが用意されています。春学期の「実践データ分析」と秋学期の「実践フィールドワーク」の2科目は必修科目で、セットで受講することがBLSPの修了要件となります。</p>

・「実践フィールドワーク」(3年次・秋学期)

テーマ	企業とのプロジェクトを通じた課題解決
演習内容	<p>「実践フィールドワーク」では、企業が提示したテーマに関する調査研究をプロジェクト・チームの形で行います。コラボレーションする相手先の企業は現在選定中ですが、たとえば、エレファントデザイン社が主宰するネットビジネス「空想生活」において、複数の大学のインターカレッジ方式で展開されているスチューデント・イノベーション・カレッジ(Sカレ)への参加が候補の一つとして挙げられています。</p> <p>Sカレは、インターネット上で顧客の声を聞きながら新製品開発に取り組むプロジェクトで、優秀なチームの考えたアイデアは実際に製品化され、発売される可能性があります。Sカレ以外にも、提携先企業の要望する課題に取り組み、発表会等の場において、具体的な事例や解決策についてのプレゼンテーションを行うことを予定しています。</p> <p>「実践データ分析」と同様、履修者はいずれかの教員のゼミに所属し、数名ずつのプロジェクトごとに調査研究を行います。調査研究は、企業との交流やフィールドでの調査など、実践的なフィールドワークを中心にいきます。</p> <p>「実践フィールドワーク」の履修者には、国際的に活躍できるビジネスリーダーを目指して、日本語での議論のみならず、英語でも論理的なディベートや効果的なプレゼンテーションを行える能力を身につけてもらうため、必修科目として「上級ビジネス英語 (BLSP)」を並行して履修することが課せられます。「上級ビジネス英語 (BLSP)」は、春学期の「上級ビジネス英語 (BLSP)」と同様に、ビジネス英語の教育を専門とする3名の教員(岡本真由美、カーティス・ケリー、中邑光男)が全てのゼミをローテーションで担当します。</p> <p>春学期の「実践データ分析」と秋学期の「実践フィールドワーク」の2科目は必修科目で、セットで受講することがBLSPの修了要件となります。</p>

・両科目共通

教科書	必要に応じて講義中に指示します。
参考書 推薦図書	川上智子・徳常泰之・岸谷和広編著『事業創造のための実践ビジネスプラン・「社会人基礎力」を鍛える』中央経済社，2009年10月刊行。 石井淳蔵・廣田章光編著『1からのマーケティング（第3版）』発行所：碩学社，発売元：中央経済社，2009年。 その他の文献は講義中に指示します。
応募者への希望	この科目では「英語に強いプロアクティブ・リーダーの育成」を目指します。したがって，受け身の姿勢ではなく，チームの中で率先して行動できる学生の応募を期待します。
申し込み条件	12月中旬に実施される面接を受け，履修を許可される必要があります。面接への参加条件として，事前に TOEIC を受験（または受験申込済み）であることを必須条件とします。TOEIC の得点そのものは履修の可否に影響しませんが，自分の実力を知るために，履修希望者は必ず受験してください。
履修すべき科目	BLSP 科目の履修モデルを参照してください。
履修を希望する科目	BLSP 科目で必要とされる知識は経営学，マーケティング，統計学と多岐にわたります。したがって，それぞれの分野の主要科目を履修し，しっかりと知識を身につけることを希望します。